

新規就農者の現状と今後どのようなサポート

質

## 市の農業施策は

～関連機関と緊密に連携し  
農業振興に努める～



あな み しん じ  
穴見真児

市民クラブ

答  
市長

トが必要と考えるか。また、市内の関連機関との連携は。

複合経営により安定した経営状況です。就農後は各種協議会等に加入し、情報交換を行うとともに市の単独事業による新規就農者の確保・育成に努めています。

関連機関との連携は、豊後大野市営農支援ネットワーク協議会を設置し支援体制の強化を

図っています。今後も農業関連施設が所在する利点を生かし農業の振興と発展に努めます。

## 災害対策は

～情報の提供とともに  
あらゆる制度を活用しながら支援する～

地区公民館などが災害で被害を受けた場合の補助率見直しの考え

質

答  
社会教育課長

補助率の見直しは困難と考えますが、被災し新築・補修等を行う場合も、自治公民館等補助金交付要綱により経費の一部を補助し支援しています。今後は自然災害に備えるための損害保険の加入などの情報提供に努めます。

質

災害で私道が被害を受け、災害指定を受けられない場合の対応が必要では。

答  
総務課長

私道が被災したなど災害復旧事業の対象とならない場合、市もあらゆる制度を活用し災害復旧に対する支援をしていきます。

## 消防団組織再編は

～平成30年4月実施に向け、  
取り組んでいる～



消防出初式

質

消防団組織再編の進捗状況と消防組織の今後の在り方は。

答  
消防長

団員確保の負担軽減、初動対応に必要な団員の確保、消防団車輛と詰め所の集約の3点を掲げ、平成30年4月実施に向け取り組んでいます。消防団は地域防災の要であり、災害発生時の活動を行う上でも消防署との緊密な関係は必要不可欠です。今後も消防団との連携した活動により被害の軽減に努めます。



しょうのてるお  
**生野照雄**

創生会

## 温浴施設待っているぞ、市民が

～計画に基づき進める～

**質**

木質バイオマス発電  
所周整備計画の進捗  
状況は。

**答**  
市長

豊後大野市分散型エ  
ネルギーインフラプロ  
ジェクト・マスタープ  
ランに基づき木質バイ  
オマス発電所の発電過  
程で排出される排熱を  
利用し、これから誘致  
する周辺施設への熱供  
給事業の可能性調査等



木質バイオマス発電所

を行いました。  
本年度は、排熱の供  
給を可能とする設備の  
実施設計と、排熱利用  
を希望する事業者を募  
集します。  
実施設計では、発電  
所施設から誘致施設に  
対して熱供給を行うた  
め、熱導管等の設備の  
仕様や排熱の量、温度  
等を確定していきます。

設備の実設計や工  
事の範囲、費用負担や  
設置後の財産の帰属と  
保守等を定めた協定を  
エフオン豊後大野と結  
ぶ必要があり、年内に  
協定の締結と実施設計  
を発注する予定です。  
その後、地元自治会  
へ事業説明会を行い、  
利用を希望する事業者  
を募集します。

**質**

補助金対象外となる  
小規模災害の今後の取  
り扱いは。

## これで良いのか 災害復旧

～早期の復旧・復興に努める～

**答**

農林整備課長

工事費40万円未満の  
小規模な災害と判断し  
た箇所は、理由を添え  
て申請者に通知し、復  
旧工事が可能となる他  
の制度を勧めています。  
具体的には、多面的機  
能支払交付金や中山間  
地域等直接支払制度を  
既に集落で取り組んで  
いる場合は、農地・施  
設の復旧費用に充当で  
きるなど、既存の制度  
をできるだけ有効活用  
して頂くようにお願い  
しています。

農業用施設の復旧に  
あたり、施工時期や地  
元負担金が高額となる  
などの相談があった箇  
所は、自治会の申請に  
よる農業用施設整備原  
材料支給制度を活用し、  
材料を支給する場合も  
あります。

今後もこれまで同様  
に既存の制度を有効活  
用していただきます。